

# 小諸市上水道事業基本計画（概要版）

## 小諸市上水道事業基本計画とは？

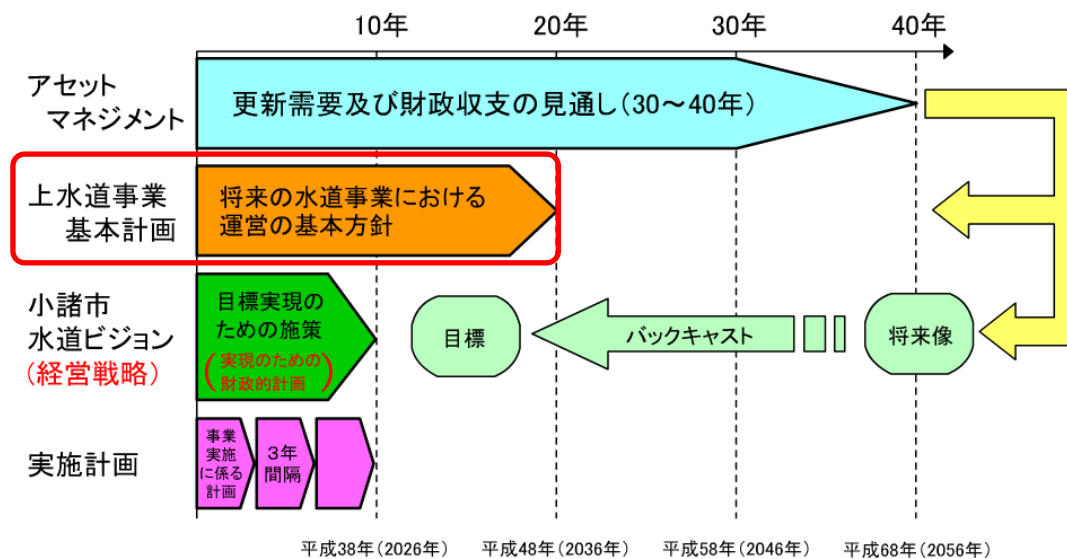
小諸市の水道事業は、老朽化施設の更新や人口減少に伴う料金収入の減少、技術の継承や人材育成など将来の事業運営に関する課題が山積しており、大きな転換期を迎えています。

このため、将来も持続可能な水道事業の基盤を早急に整える必要があり、将来の水道事業の方向性を定めるため小諸市上水道事業基本計画（以下「基本計画」）を策定しました。

## 小諸市上水道事業基本計画策定の位置付け

基本計画は概ね 20 年間として平成 48 年（2036 年）までの基本的な方針を定め、当初 10 年の平成 38 年度までを小諸市水道ビジョンで、さらに具体的な計画を 3 年単位（当初のみ 4 年）の実施計画として定めませんが、状況や環境の変化に柔軟に対応できるよう水道ビジョンは実施計画の計画期間に合わせて見直しを行う予定です。

図 1 小諸市上水道事業基本計画の位置付け



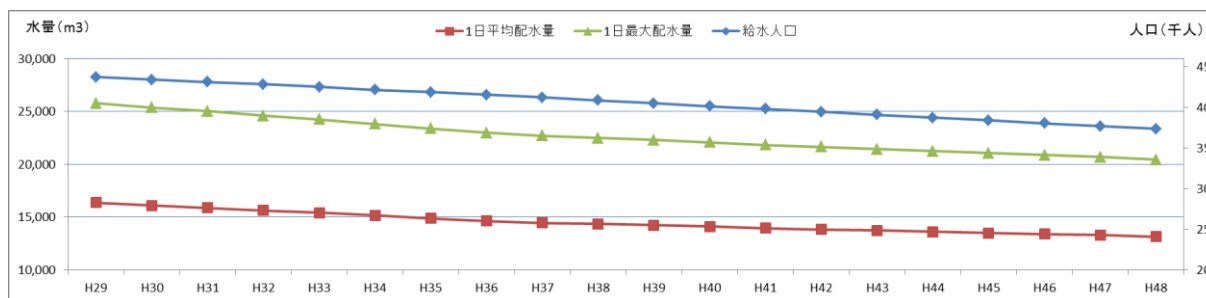
## 給水人口と水需要の見通し

近年は、人口減少に伴い給水人口及び給水量は減少傾向にあり、今後も大幅な増加は見込むことができず、こうした状況は長く続くとも思われます。

基本計画の計画期間における給水人口及び水需要の見通しは図 2 のとおりで、給水人口・配水量共に緩やかに減少していく見込みであることから基本的に施設の拡張は必要ないと考えられ、むしろ 20 年後の水需要が現在と比較して 20% 近く減少すると見込まれることから、施設の統廃合やダウンサイジングなどを検討していく必要があると考えられます。

ただし、今後は地域によって給水人口や配水量の増減に差が出てくる可能性が高いため、水系別の水需要の動向なども注視していく必要があります。

図1 水需要と給水人口の見通し（20年間）



## 小諸市上水道事業基本計画の基本方針

小諸市の水道事業は、給水開始より90年以上を経過し、古い水道施設については当時の資料も少なく調査が難航しており、現時点では詳細な配水計画や更新計画を作成するための情報が不足しています。このため、基本計画では将来の水道事業運営の「骨格」となる基本的な方針のみを定めました。

また、給水人口、給水収益共に減少が見込まれる「右肩下がり」の状況下において、将来の計画を策定することは非常に難しく、今後も状況や環境に柔軟に対応した計画修正が必要となることから、水道事業における各種計画は調査とデータの分析を継続的に進めながら修正を行う「進化する計画」を目標としました。

なお、基本計画では、市民懇談会をはじめとした水道使用者からの意見も交え、以下の2点を今後の水道事業のテーマ（キーワード）としました。

### （1）持続可能な水道事業

引き続き水道施設の基本調査を進め効率の良い配水計画を作成し、緊急時にも給水が可能な施設や場所を定めると共に、重要度の高い施設から計画的に更新を行います。

水道料金については、平成32年度までは現行の料金水準とし、平成31年度までの施設更新及び財政状況を検証した上で見直しを検討するものとし、見直しの際には使用者からの意見も交え決定していきます。

運営面については、さらなる経営改革を進める必要があり、公民連携・民間委託を含めた効率的な運営や広域連携による効率化について研究・検討を進め、組織体制の見直しも含めて経営の安定化を図ります。

### （2）開かれた水道事業

発信する情報の質及び量の充実を図ると共に新しい提供媒体の検討を進め、より近くより分かりやすい情報提供を目指します。

また、媒体の特徴に合った情報発信の検討を進め、企業誘致などにも活用できる水情報の整理を行います。

**※詳細は「小諸市上水道事業基本計画書」をご覧ください。**